

学校評価結果（令和２年度）

長池昭和幼稚園

I 自己評価

1. 本園の教育目標

発達に応じた楽しいあそびの中で、知・体・徳のバランスのとれた教育を展開し心身ともに元気で明るい、のびのびした子どもを育てることを目指す。

- ・心身ともに元気に明るい子どもを育てる。
- ・自ら進んで新しい発見をし、喜びを持ち工夫する子どもを育てる。
- ・自分や他人を大切にし、みんなと仲良く協力できる子どもを育てる。
- ・規則正しい生活ができ、自ら安全な行動のできる子どもを育てる。

2. 本年度の重点的に取り組む目標、計画

子ども一人一人の成長に丁寧に向き合い保育に取り組む

コロナ禍の中安全な保育の進め方について考え感染防止に取り組む

保育者の資質の向上に努める

3. 評価項目の達成及び取組状況

保育内容	4月から6月までの緊急事態宣言に伴う休園措置の為、保育期間を短縮するとともに、感染防止の観点から例年通りの保育や行事を行えなかったが、その制限された状況下で子ども達に必要な体験を出来るだけ体験させてあげられるよう職員間で入念な話し合いを行い年間を通して保育に取り組んだ。
子どもへの共通理解	職員間で日頃から各園児の成長度合いや状況について話し合い共通理解を持てるように取り組んだ
教育者としての資質の向上	お互いに日々保育内容や指導方法について話し合い、工夫や改善できる点を話し合いながら子どもたちにとってより良い保育が行えるように取り組んだ。
安全面や施設面での取組み	コロナ禍の中、マスクの着用や消毒の徹底を行い感染予防に努めた。また感染予防の観点から行事の見直しを行った。 日々設備や施設の点検を実施し、都度改善を行った。また交通安全指導や避難訓練を行った。

4. 学校自己評価の総合的な評価結果

コロナ禍の中例年とは違う保育の取り組み方に迫られたが、感染予防と子どもの成長のための体験、保育の在り方とのバランスを職員間で常に話し合いながら保育を進め、感染者を出すことなく1年間過ごすことが出来た。中止を余儀なくされた行事もあったが、1年間を通して子どもたちの健やかな成長を促すことが出来た。コロナ禍の為教職員の外部への積極的な研修参加が出来なかったが、園内での話し合いを通じて保育者の資質の向上に努めることが出来た。

5. 今後の課題

新型コロナウイルス感染の終息がまだまだ見込めない中、更なる安全面での強化と保育の質の向上に努め、新たな保育の在り方を検討する必要がある。また中止した行事についても安全面の強化を図り実施できるよう工夫する必要がある。

多様化する地域の保育のニーズを掴み、必要性に応じた保育の提供に努めることが重要である。

II 学校関係者評価

幼稚園関係者の方々には主に行事を通して日頃の保育の成果を見て頂き適正に運営されているとともに、2020年度の自己評価についても適正であると認められた。

今後も子どもたちの健全な成長のためにより一層頑張ってもらいたいとの言葉を頂きました。